

これまでの審議のまとめ

財政シミュレーションの結果、現行料金を維持した場合、平成29年度から赤字が継続し、平成36年度以降は資本的支出の補てん財源や運転資金が不足する見通しである。

(1) 料金の改定 → 改定

(2) 料金の改定時期 → 平成31年度中

(3) 料金体系・基本水量 → 現行どおり

【料金体系】 ・用途別の二部料金制(基本料金＋超過料金)
・超過料金は単一型

【基本水量】 ・一般用8m³
・営業用10m³

(4) 料金の改定幅 → 基本料金と超過料金を30%アップ

ケース3 基本料金・超過料金30%アップ

用途		現行		現行	改定	増減		現行	改定	増減
一般用	基本水量	8m ³	基本料金	480円	625円	145円増	超過料金	95円	125円	30円増
営業用	基本水量	10m ³	基本料金	650円	845円	195円増	超過料金	105円	135円	30円増
臨時用	基本水量	—	—	—	—	—	超過料金	195円	255円	60円増

■収益の収支 実績値 予測値 単位:千円

項目	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
料金収入	261,035	258,376	260,706	324,728	319,644	314,485	309,326	304,167	299,008	293,849	288,809
当年度純利益(純損失)	27,063	△ 18,317	△ 41,935	15,579	6,743	9,004	1,284	△ 961	△ 1,366	△ 2,209	△ 4,353

ケース3 基本料金・超過料金30%アップで端数処理しない場合

用途		現行		現行	改定	増減		現行	改定	増減
一般用	基本水量	8m ³	基本料金	480円	624円	144円増	超過料金	95円	123円	28円増
営業用	基本水量	10m ³	基本料金	650円	845円	195円増	超過料金	105円	136円	31円増
臨時用	基本水量	—	—	—	—	—	超過料金	195円	253円	58円増

■収益の収支 実績値 予測値 単位:千円

項目	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
料金収入	261,035	258,376	260,706	319,732	314,727	309,647	304,567	299,488	294,408	289,328	284,366
当年度純利益(純損失)	27,063	△ 18,317	△ 41,935	10,583	1,825	4,166	△ 3,474	△ 5,641	△ 5,967	△ 6,729	△ 8,797

【参考:料金改定の推移】

用途	基本水量	基本料金			超過料金		
		昭和54年6月～	昭和57年12月～	平成11年6月～	昭和54年6月～	昭和57年12月～	平成11年6月～
一般用	8m ³	300円(80円増) 36.4%改定	380円(80円増) 26.7%改定	480円(100円増) 26.3%改定	60円(20円増) 50%改定	80円(20円増) 33.3%改定	95円(15円増) 18.8%改定
営業用	10m ³	440円(120円増) 37.5%改定	550円(110円増) 25%改定	650円(100円増) 18.2%改定	70円(25円増) 55.6%改定	90円(20円増) 28.6%改定	105円(15円増) 16.7%改定
臨時用	—	—	—	—	140円(40円増) 40%改定	180円(40円増) 28.6%改定	195円(15円増) 8.3%改定